

みずほオートリース通信

2024年 4月号

タイヤのパンク ～なぜ起きる？対処方法は？～

寒さも和らぎゴールデンウィークも近づいてきました。車で遠出の計画を立てている方も多いと思いますが、出先で車のトラブルが発生すると大変です。

そこで今回はJAFの出動件数でも常に上位にあるパンクについてご紹介します。

パンクの原因

原因1：釘などの異物が刺さった

走行中に釘やガラス片、鋭くとがった石などの異物を踏んでしまい、そのまま走行すると、異物とゴムにできた穴の間から空気が抜けてしまいます。

原因2：縁石に擦ったりぶつけてしまった

タイヤ側面は、路面と接するトレッド部分よりも薄く、走行時もっともたわみが激しい部分です。縁石に擦ったことでタイヤの中のワイヤーが切れてしまったり、ゴムが傷ついて亀裂が生じてしまい、そのまま走行すると傷が広がってしまいます。

原因3：空気圧不足

タイヤの空気圧が不足すると、走行時にタイヤが大きくたわんで変形し、そのまま走り続けるとタイヤを支える構造が損傷し、トレッド面にクラック（ひび割れ）が生じてしまいます。また偏摩耗の原因となり、十分なブレーキ性能を発揮できない可能性もあります。

パンクとバーストの関係性

もし、パンクに気付かず走行を続けるとタイヤがバーストしてしまい、事故へとつながる危険性があります。

パンクというと、タイヤが弾けてしまうようなイメージを持つ方が多いかもしれませんが、しかし実際には、何らかの原因でタイヤが傷ついたことによって空気が抜けていく、空気圧不足となる現象です。

一方バーストは、大きな破裂音とともにタイヤの構造が破壊され、トレッド面が弾けて爆発したような状態になることを指します。

バーストの原因の多くは、タイヤにできた傷の放置や空気圧不足です。パンクの原因を知り適切に対処することで、バーストによる事故を未然に防ぐことに繋がります。

JAFロードサービス 主な出動理由TOP10

2023年12月「四輪」

一般道路

順位	故障内容	件数	構成比
1	過放電バッテリー	76,106	37.65
2	タイヤのパンク、バースト、エア圧不足	34,380	17.01
3	破損／劣化バッテリー	19,021	9.41
4	落輪・落込	12,963	6.41

高速道路

順位	故障内容	件数	構成比
1	タイヤのパンク、バースト、エア圧不足	1,725	34.83
2	燃料切れ	598	12.08
3	事故	490	9.89
4	過放電バッテリー	248	5.01

出典：JAF(日本自動車連盟)ロードサービス救援データより一部抜粋
<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/library/road-service-report>



バーストしたタイヤの画像

画像：株式会社オートバックスセブンウェブサイトより一部引用

https://www.autobacs.com/static_html/srv/tire/article/2034/

タイヤがパンクしたときの対処法

タイヤがパンクした時には無理に自分で交換をせず、ロードサービス等に対応してもらいましょう。

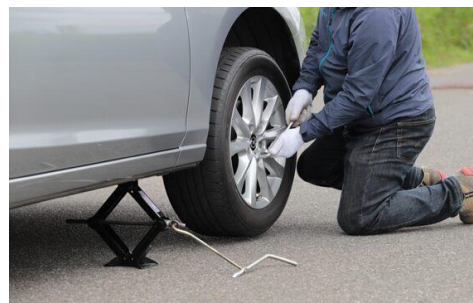
しかし、緊急を要する場合や、ロードサービスの到着に時間がかかるような場合は以下の方法で対応可能です。

①スペアタイヤと交換する

スペアタイヤやテンパータイヤを車に積んでいる場合は、パンクしたタイヤと交換すれば短距離なら走行可能です。

②タイヤ修理剤を使用する

タイヤ修理剤を注入することで、一時的にパンクの傷を塞ぎ、空気を充填しても漏れないよう状態になり、短時間の走行が可能となります。ただし完全に傷を塞ぐことができるわけではありませんので、速やかに新たなタイヤに交換しましょう。



画像：株式会社ブリヂストン タイヤサイト「タイヤパンクの原因」より一部引用

<https://www.carseven.co.jp/magazine/news/1059/>

パンクの予防方法

タイヤがパンクする時にはいくつかの兆候があり、多くは乗車前の日常点検や空気圧点検で見つけることが可能です。

①タイヤの空気圧を適正に保つ

タイヤの空気は走行しなくとも自然に減ります。月1回は空気圧の点検をして最適な数値を保ちましょう。適正な空気圧を「車両指定空気圧」と呼んでいます。その数値は運転席ドア開口部などに記載されていますので確認しておきましょう（下図参照）。



タイヤ空気圧 (kPa/kg/cm ²)			
タイヤサイズ	前・後輪		
195/65R15 91S	230	{2.3}	
応急用タイヤ			
T135/80D16 101M	420	{4.2}	
28700		NM	

②タイヤの乗車前チェック

タイヤの異常は、目視でも確認できる場合があります。タイヤの亀裂や傷、空気が抜けているなど一目がわかるものがあるかもしれません。

もし異常が見られたときは、早めに整備工場やカー用品店などに行き、点検を依頼し、問題があれば新品タイヤに交換しましょう。

画像：日本グッドイヤー株式会社ウェブサイトより一部引用：
<https://www.goodyear.co.jp/knowledge/air.html>

③使用期間で交換を検討

走行距離にかかわらずタイヤは使用開始から4～5年経つと劣化して安全性能が低下します。劣化したタイヤは柔軟性が失われパンクしやすくなります。使用期間から4年程経ったら、新しいタイヤに交換することをお勧めします。

出典：下記ウェブサイトを参照し、一部引用のうえ当社で作成

・株式会社ブリヂストン タイヤサイト タイヤを知る>タイヤの点検>タイヤのパンク原因 <https://tire.bridgestone.co.jp/about/maintenance/punk/>

・株式会社カーセブン セブンスマガジン 車について知りたい>タイヤがパンクする原因は？対処方法や予防のポイントも解説

<https://www.carseven.co.jp/magazine/news/1059/>

・株式会社オートバックスセブンウェブサイト ピットサービス>タイヤ交換>タイヤがパンクしたらどうする？対処方法やパンクを防ぐ方法を解説(タイヤ)

https://www.autobacs.com/static_html/srv/tire/article/2066/#section5

弊社のメンテナンスリースでは、法定点検の他、スケジュール点検を付加しており、その際にプロの目でタイヤの空気圧、亀裂、損傷等をチェックしております。弊社は安心のメンテナンスリースをお勧めしております。

みずほオートリース株式会社